



(参考仮訳)

プレスリリース No.11/260
即時解禁
2011年6月28日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド氏による、IMF 専務理事選出に関する声明

クリスティーヌ・ラガルド氏は本日、国際通貨基金 (IMF) 理事会による IMF 次期専務理事選出に伴い、以下の声明を発表した。同氏は、1944 年の IMF の設立時から第 11 代の専務理事に就任する。

「国際通貨基金の理事会は、ドミニク・ストロスカン氏の後任専務理事として、先ほど私を選出しました。これにより、専務理事として7月5日より5年間の任期を務める運びとなりました。理事会がこの度、私に信頼を託して下さったことに深く感謝するとともに、幅広い加盟国の暖かい支持に御礼申し上げます。また、私の同志であり友人でもあるアグスティン・カルステンズ氏に心から敬意を表します。

IMF は、世界経済・金融危機の間、多くの面で積極的に改革を行ない、187 加盟国に対し適確な支援を行ってきました。我々 IMF はこれまでと同様に集中し変わらぬ精神のもと、全加盟国のために引き続き尽力することを、専務理事の職に就くにあたり最大の目標として掲げたいと思います。選出過程の際に理事会で申し上げたとおり、IMF の使命として、強固かつ持続可能な成長、安定したマクロ経済、万人のより良い未来のために、今後も加盟国にとり有意義な存在であり続けると共に、柔軟な対応と正当性を維持・継続することが求められているのです」